

第4回（3月） 会議録（主な意見）

○コロナ禍の中、公民館は、事業実施を自粛したり縮小したりしている中ではあるが、当公民館の歴史研究会で地域の旧地名、字名についての冊子を作った。地域で利用するとともに学校にも配付し、学校に行き、地域のいわれとか、歴史などを教え伝えながら、子どもたちに、地域の愛というか地域を知ってもらう、そんな一助になればと思い作ったところである。

○コロナ禍の中、公民館の SNS 利用、オンライン化状況について実態調査を行った。調査結果を県内の公民館に案内することで、これからのウィズコロナ、アフターコロナ、ポストコロナに向けて、SNS 利用、デジタル化をどう進めていくのかという一つのきっかけづくりとなればと考えている。

○単なる大人からの押し付けだけじゃなく、中学生、高校生を巻き込んだ会議とか話し合いの場というのは、大人と中学生、高校生のつながりができ、子どもたちの町に対する関心が高めることができたと思う。会議により、話し合ったことが、将来少しずつ形になったり、未来につながっていくと思うので、続けていかなければと思う。

○ごみ出しのわずかな時間の立ち話でも情報交換ができる。特別に集まらなくても、日常の小さなコミュニケーションがつながりづくりには大切である。

○子どもたちは地域の方々に本当にお世話になっている。学校として、地域の大人と子どもたちのつながりづくりに向けて、地域の大人と子どもたちが関わる機会をいろいろつくれないかと取り組んでいる。

○子どもたちの学びに、地域が全体で、縦の軸で関わり、広く関わっていくことがすごく大きなことである。